

令和6年6月選考 警察事務職 作文考查

あなたが、仕事をする上で、重視することや気をつけたいことにふれつつ、警察職員として取り組んでみたい仕事について述べなさい。

令和6年6月選考 警察事務職 グループワーク課題

みなさんは、大阪府警察職員として採用され、企画や広報を担当しています。

ワークライフバランスの実現（誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすと同時に、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるようにすること）に向けて、効果的な企画案をグループで作成することとなりました。

どのような取り組みを行うとワークライフバランスを実現することができるか、具体的な企画案を作成してください。

（条件）

- ・企画の実施にかかる費用は考慮しなくていいが、現実的なものとする。
- ・可能な限り、既存の取り組みとは異なる、新規性についても意識すること。

教養 考查

※ 問題は、著作権保護の理由により非公表となっているため、例題を掲載しています。

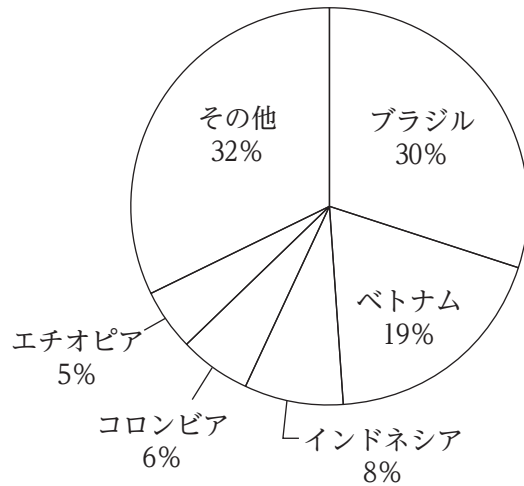
高齢者をめぐる日本の現状に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア．平均寿命は、男性も女性も近年70代後半で推移しており、女性の方が男性よりも長い。
- イ．公的高齢年金では、原則として65歳から年金を受給できるが、希望すれば一定の年齢の範囲内で受給開始時期を選択できる、年金の繰上げ・繰下げ受給の制度がある。
- ウ．原則75歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療では、医療費の窓口負担割合が所得にかかわらず3割であったが、近年、所得にかかわらず1割に引き下げられた。
- エ．65歳以上の者における、公的介護保険制度の要介護又は要支援の認定者数は、近年減少傾向にある。
- オ．自動車等の運転免許証の更新期間が満了する日に年齢が一定以上の高齢者は、運転免許証を更新するに当たり、高齢者講習の受講や認知機能検査の受検が義務付けられている。

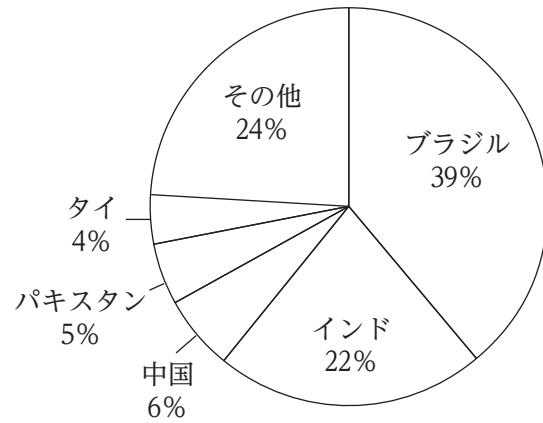
- 1. ア, ウ
- 2. ア, オ
- 3. イ, エ
- 4. イ, オ
- 5. ウ, エ

次のグラフ A ～ D は、コーヒー豆、サトウキビ、茶葉、バナナの2021年における生産量の国別の割合（上位5か国）を示したものである。グラフと品目を正しく組み合わせているのはどれか。

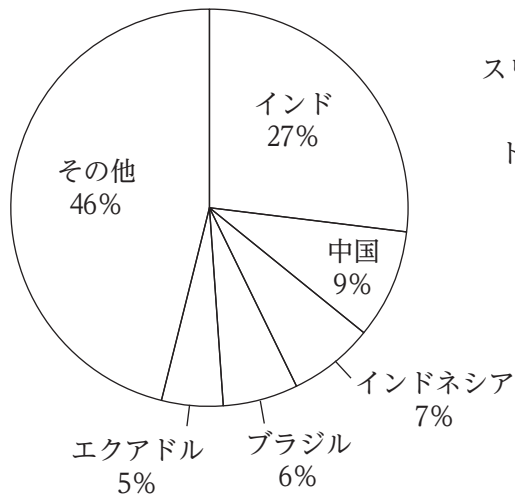
A



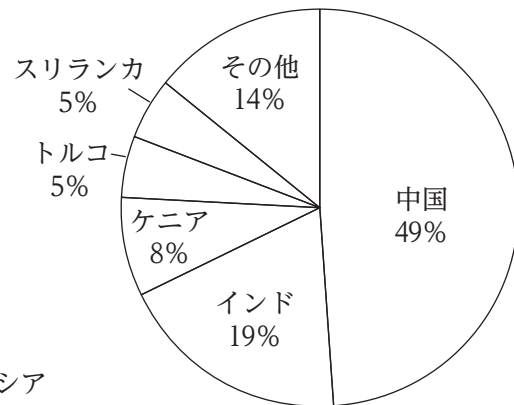
B



C



D



A

1. コーヒー豆
2. コーヒー豆
3. コーヒー豆
4. バナナ
5. バナナ

B

1. サトウキビ
2. 茶葉
3. バナナ
4. コーヒー豆
5. コーヒー豆

C

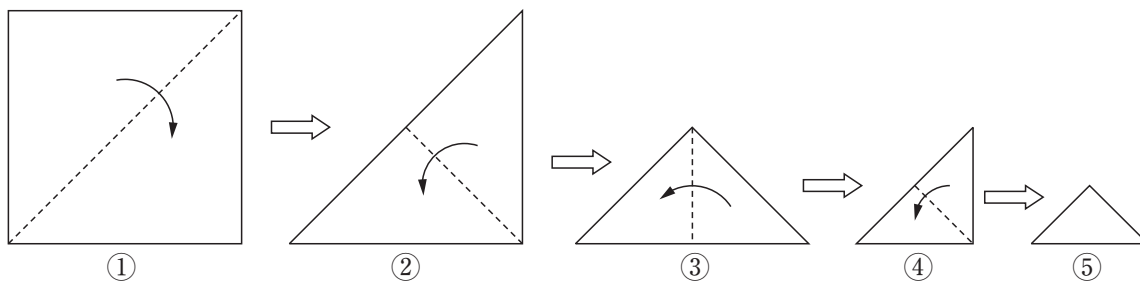
1. バナナ
2. バナナ
3. サトウキビ
4. サトウキビ
5. 茶葉

D

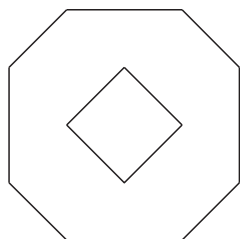
1. 茶葉
2. サトウキビ
3. 茶葉
4. 茶葉
5. サトウキビ

正方形の紙を，図Ⅰのように①～⑤の順番に点線に沿って谷折りにしていく。
 折り曲げた⑤の紙を，ある直線に沿ってはさみで切り，切り分けられた一方を広げたと
 ころ，図Ⅱのようになった。⑤においてははさみを入れた直線を破線で示したものはどれ
 か。

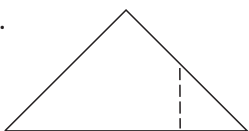
図Ⅰ



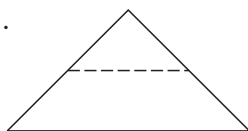
図Ⅱ



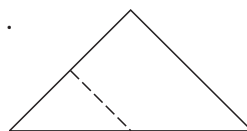
1.



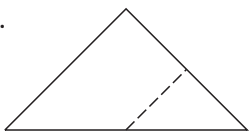
2.



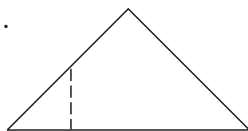
3.



4.



5.



人権に関する記述として、**誤っている**のはどれか。

1. 大阪府では、2022年に「大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」が施行され、これに基づき、府民のインターネットリテラシーを向上させるための啓発活動などに取り組んでいる。
2. I L O（国際労働機関）は、雇用と職業の面で、どのような差別待遇も行われてはならないことを規定する「I L O第111号条約」をつくり、各国に雇用や職業上の機会均等の促進を求めている。
3. 「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が2000年に公布・施行され、施策の推進について地方公共団体及び国民の責務は明らかになったが、国の責務は明らかにされていない。
4. 同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的・社会的・文化的に低位の状況を強いられ、現在でも日常生活の上で差別を受けるなど、日本固有の人権問題である。
5. 大阪府には、歴史的経緯により、多くの韓国籍・朝鮮籍の人が暮らしているが、この人たちの中には、差別を避けるため、本名ではなく、日本名（通名）で生活する人もいる。